



歯根の治療ってどんな治療？



細菌に侵されてしまった歯の内部をきれいに掃除して抜かずに使い続けるための最後の手段＝歯根の治療。精緻なワザと根気が必要とされるたいへん難しく高度な治療方法です。外から見えない場所の治療だけに患者さんへの治療説明が難しいのも悩みの種なんです。

なぜ治療に時間がかかる？

Q チクチクとする治療ばかりしていて、ちっとも治療が終わりません。なぜこんなに長く治療するのですか？

A 歯の内部に入った細菌を徹底的に取り除くためです。大ざっぱな掃除でよいのならたしかに仕事は早く終わりますが四角い部屋を丸く掃いたような治療では取り残したしつこい細菌によって虫歯が再発するリスクが高くなってしまいます。

治療中の痛みについて

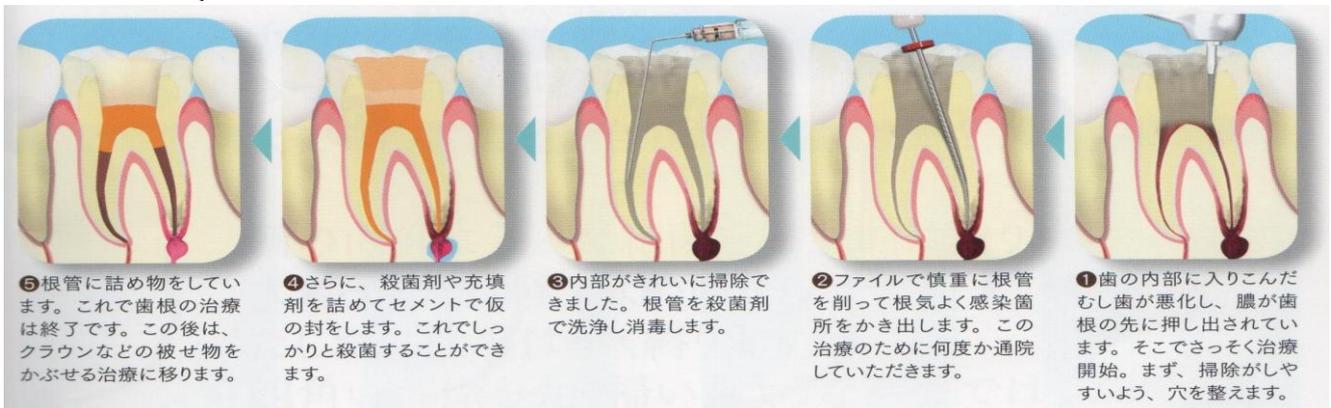
Q 神経を取ってあるはずなのに治療中にチクッとしました。治療がうまくいっていないのか、不安です。

A チクッとしたのは、治療器具（ファイル）の先が歯根の先まで達して歯根膜に触れたからです。ファイルが先まで達しているということはすみずみまで掃除ができていているということ。治療が順調な証拠です。

「歯根の治療」は治療の土台！

治療が成功した歯根はクラウンやブリッジを装着するとき大切な土台として働き続けます。つまり歯根の治療とは、自分の歯を残すだけでなくつぎに続く治療を支えるための根幹となる治療なのです。

歯根の治療の流れ



歯根の治療を土台にしたクラウンの治療

